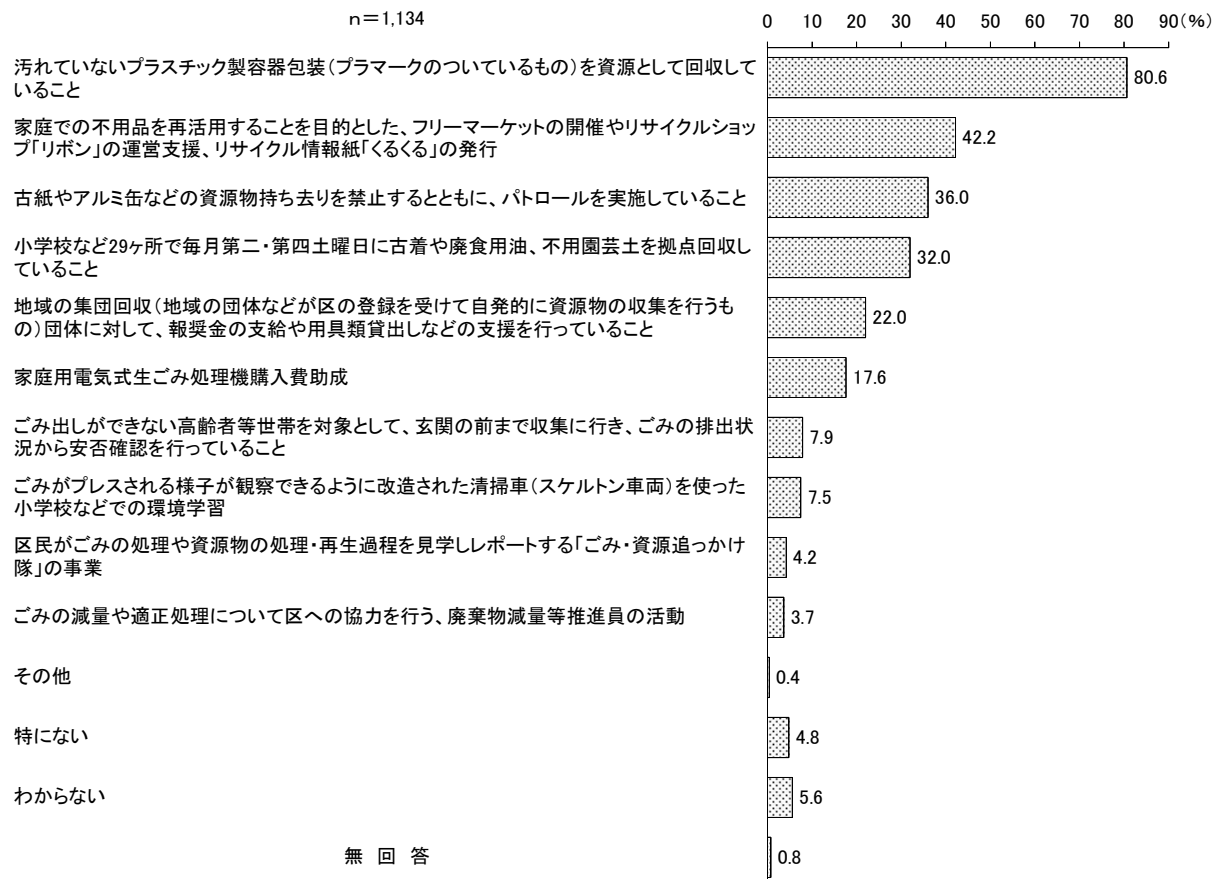


9 ごみ・リサイクルについて

(1) ごみ・リサイクル事業の認知度

問 19 (すべての方に) 区では、ごみの減量やリサイクルの推進などのため、各種事業を行っています。これらの事業について、あなたの知っているものはどれですか。(〇はいくつでも)

【ごみ・リサイクル事業の認知度 (全体)】



- ・全体でみると、「汚れていないプラスチック製容器包装(プラマークのついているもの)を資源として回収していること」(80.6%)がほぼ8割で最も高く、「家庭での不用品を再利用することを目的とした、フリーマーケットの開催やリサイクルショップ『リボン』の運営支援、リサイクル情報紙『くるくる』の発行」(42.2%)、「古紙やアルミ缶などの資源物持ち去りを禁止するとともに、パトロールを実施していること」(36.0%)、「小学校など29ヶ所で毎月第二・第四土曜日に古着や廃食用油、不用園芸土を拠点回収していること」(32.0%)などの順となっている。

【ごみ・リサイクル事業の認知度（性／年代別、職業別、世帯構成別）】

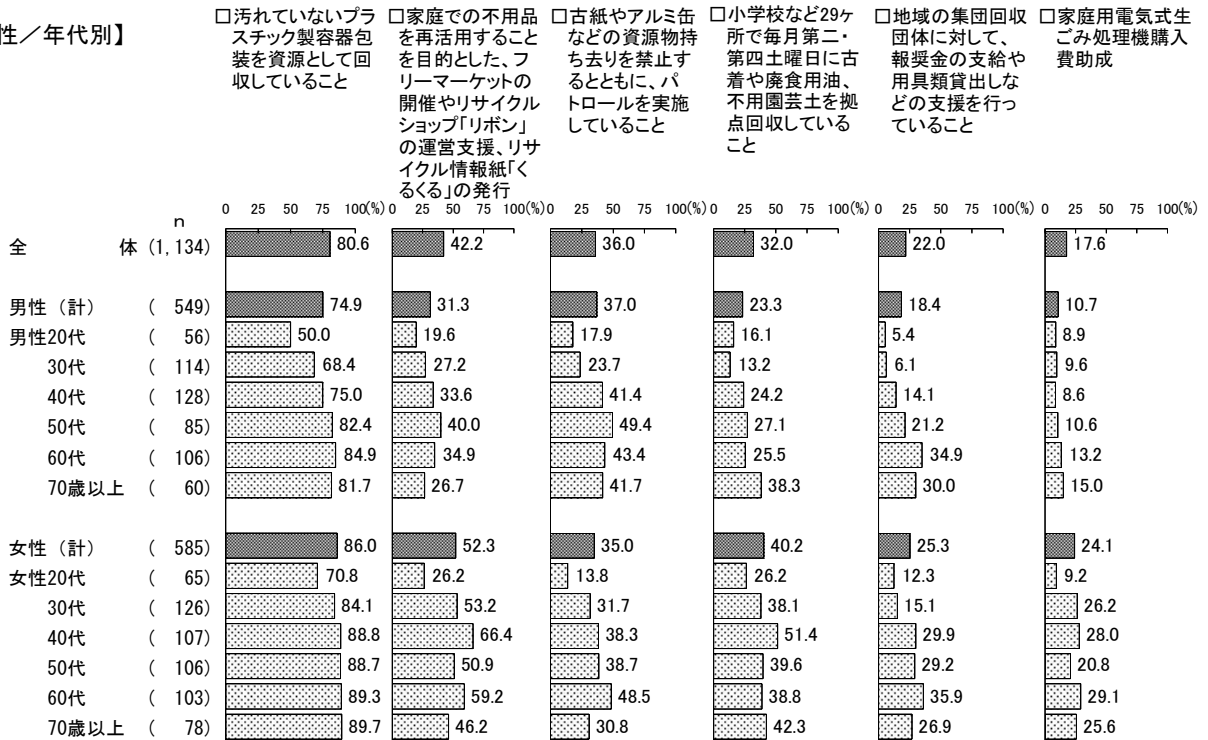
(%)

属性 項目 n		（％）													
		無回答	わからない	特にな	その他	ごみの減量や適正処理について区への協力を行う、廃棄物減量等推進員の活動	区民がごみの処理や資源物の処理・再生過程を見学しレポートする「ごみ・資源追っかけ隊」の事業	ごみがブレスされる様子が観察できるように改造された清掃車（スケルトン車両）を使った小学校などでの環境学習	ごみ出しができない高齢者等世帯を対象として、玄関の前まで収集に行き、ごみの排出状況から安否確認を行っていること	家庭用電気式生ごみ処理機購入費助成	地域の集団回収（地域の団体などが区の登録を受けて自発的に資源物の収集を行うもの）団体に対して、報奨金の支給や用具類貸出しなどの支援を行っていること	小学校など29ヶ所で毎月第二・第四土曜日に古着や廃食用油、不用園芸土を拠点回収していること	古紙やアルミ缶などの資源物を持ち去りを禁止するとともに、パトロールを実施していること	家庭での不用品を再活用することを目的とした、フリーマーケットの開催やリサイクルショップ「リボン」の運営支援、リサイクル情報紙「くるくる」の発行	汚れていないプラスチックの製容器包装（プラマークのついているもの）を資源として回収していること
全体（1,134）		80.6	42.2	36.0	32.0	22.0	17.6	7.9	7.5	4.2	3.7	0.4	4.8	5.6	0.8
〔性／年代別〕															
男性（計）（549）		74.9	31.3	37.0	23.3	18.4	10.7	6.0	3.8	2.9	4.0	0.2	6.7	8.0	0.4
男性20代（56）		50.0	19.6	17.9	16.1	5.4	8.9	1.8	0.0	1.8	1.8	0.0	21.4	8.9	0.0
30代（114）		68.4	27.2	23.7	13.2	6.1	9.6	1.8	4.4	0.9	1.8	0.0	7.9	12.3	0.9
40代（128）		75.0	33.6	41.4	24.2	14.1	8.6	4.7	3.9	4.7	1.6	0.0	4.7	9.4	0.8
50代（85）		82.4	40.0	49.4	27.1	21.2	10.6	9.4	3.5	2.4	2.4	0.0	3.5	4.7	0.0
60代（106）		84.9	34.9	43.4	25.5	34.9	13.2	6.6	4.7	5.7	8.5	0.9	2.8	5.7	0.0
70歳以上（60）		81.7	26.7	41.7	38.3	30.0	15.0	15.0	5.0	0.0	10.0	0.0	6.7	5.0	0.0
女性（計）（585）		86.0	52.3	35.0	40.2	25.3	24.1	9.7	10.9	5.5	3.4	0.7	2.9	3.2	1.2
女性20代（65）		70.8	26.2	13.8	26.2	12.3	9.2	3.1	6.2	4.6	1.5	0.0	6.2	12.3	0.0
30代（126）		84.1	53.2	31.7	38.1	15.1	26.2	5.6	14.3	2.4	0.0	0.8	5.6	2.4	0.0
40代（107）		88.8	66.4	38.3	51.4	29.9	28.0	6.5	21.5	6.5	1.9	0.0	2.8	0.9	0.9
50代（106）		88.7	50.9	38.7	39.6	29.2	20.8	8.5	10.4	3.8	3.8	0.0	0.9	1.9	4.7
60代（103）		89.3	59.2	48.5	38.8	35.9	29.1	15.5	2.9	7.8	3.9	2.9	0.0	1.0	1.0
70歳以上（78）		89.7	46.2	30.8	42.3	26.9	25.6	20.5	6.4	9.0	11.5	0.0	2.6	5.1	0.0
〔職業別〕															
会社員・団体職員（456）		74.8	34.9	31.1	25.0	15.4	12.7	4.2	5.7	3.7	1.5	0.0	6.8	8.1	0.4
商工自営業（102）		87.3	44.1	37.3	24.5	19.6	19.6	5.9	4.9	3.9	5.9	1.0	2.0	2.0	1.0
会社役員・団体役員（42）		71.4	35.7	38.1	33.3	28.6	11.9	11.9	7.1	7.1	4.8	0.0	2.4	11.9	2.4
公務員（24）		87.5	45.8	50.0	45.8	41.7	16.7	12.5	25.0	4.2	4.2	0.0	4.2	0.0	4.2
パート・アルバイト（160）		88.1	58.1	40.6	39.4	26.9	26.9	6.9	12.5	5.0	2.5	0.0	3.1	1.3	1.3
学生（20）		65.0	5.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	5.0	5.0	0.0	0.0	5.0	10.0	0.0
無職（専業主婦含む）（307）		86.0	47.6	41.0	41.0	29.3	21.5	13.7	6.8	4.6	6.8	1.3	2.9	4.2	0.7
その他（17）		64.7	29.4	17.6	29.4	17.6	17.6	23.5	17.6	0.0	5.9	0.0	17.6	11.8	0.0
〔世帯構成別〕															
夫婦だけ（238）		79.4	42.0	30.3	26.9	22.3	18.5	7.6	5.0	5.0	5.0	0.4	5.0	5.9	1.3
親と子（2世代）（594）		82.2	45.6	41.4	34.0	23.7	19.2	7.6	10.3	4.9	3.2	0.5	3.4	4.5	1.0
祖父母と親と子（74）		86.5	44.6	33.8	47.3	31.1	14.9	8.1	5.4	1.4	1.4	0.0	1.4	6.8	0.0
ひとり暮らし（191）		75.4	29.8	28.3	27.2	15.2	14.1	9.9	3.7	2.6	4.2	0.5	8.9	7.9	0.0
その他（26）		84.6	53.8	30.8	38.5	3.8	7.7	3.8	3.8	3.8	3.8	0.0	11.5	0.0	0.0

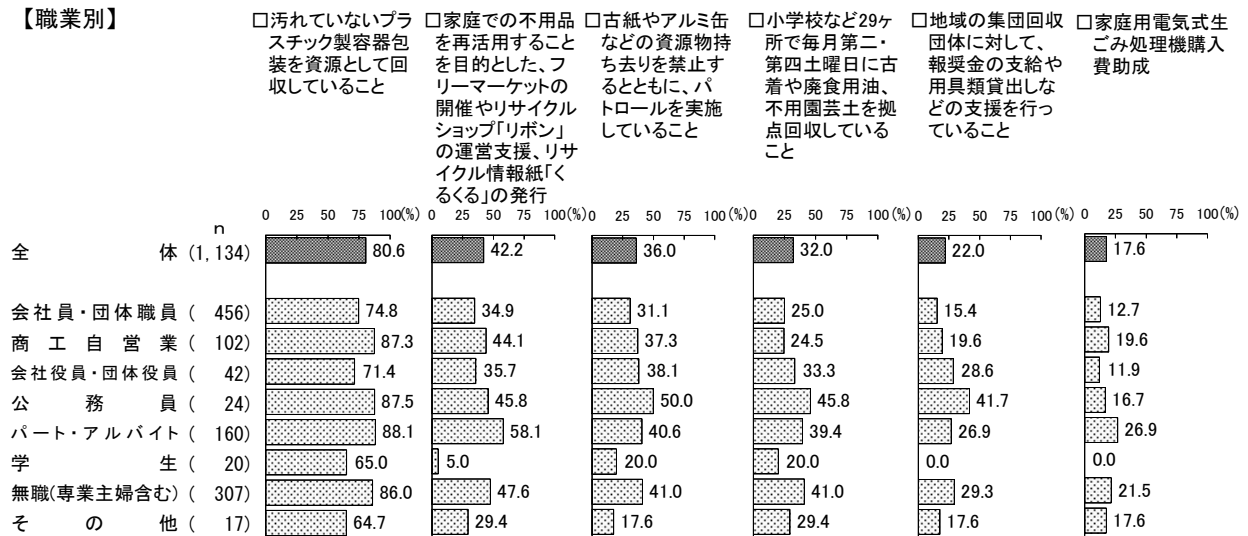
- ・性別にみると、「家庭での不用品を再活用することを目的とした、フリーマーケットの開催やリサイクルショップ『リボン』の運営支援、リサイクル情報紙『くるくる』の発行」は女性が男性より 21.0 ポイント高くなっている。
- ・性／年代別にみると、「家庭での不用品を再活用することを目的とした、フリーマーケットの開催やリサイクルショップ『リボン』の運営支援、リサイクル情報紙『くるくる』の発行」は女性 40 代が 6 割半ばと高くなっている。「小学校など 29 ヶ所で毎月第二・第四土曜日に古着や廃食用油、不用園芸土を拠点回収していること」は女性 40 代が 5 割を超え高くなっている。
- ・職業別にみると、「家庭での不用品を再活用することを目的とした、フリーマーケットの開催やリサイクルショップ『リボン』の運営支援、リサイクル情報紙『くるくる』の発行」はパート・アルバイトが 6 割近くと高くなっている。
- ・世帯構成別にみると、「小学校など 29 ヶ所で毎月第二・第四土曜日に古着や廃食用油、不用園芸土を拠点回収していること」は祖父母と親と子(3 世代)が 5 割近くと高くなっている。

【ごみ・リサイクル事業の認知度（性／年代別、職業別、世帯構成別）－上位6項目】

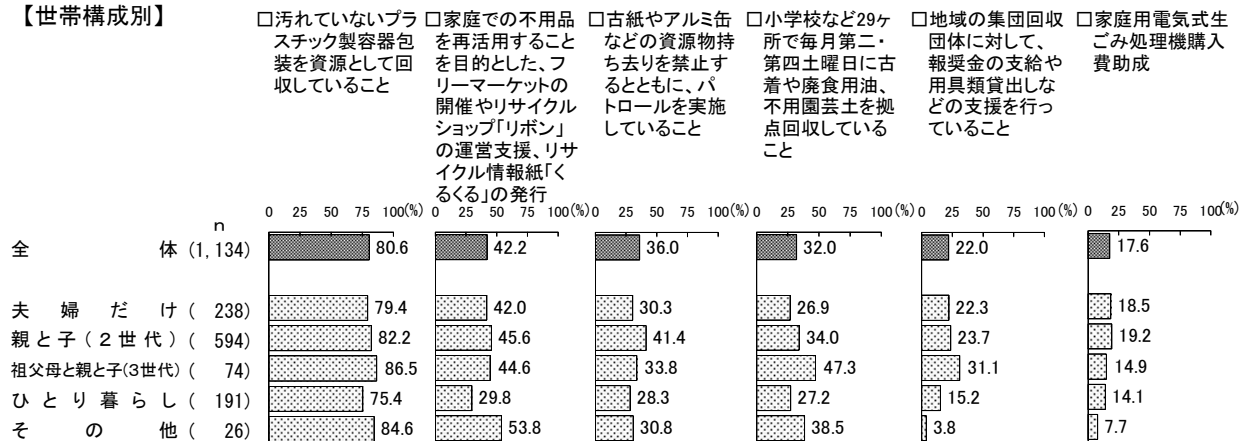
【性／年代別】



【職業別】



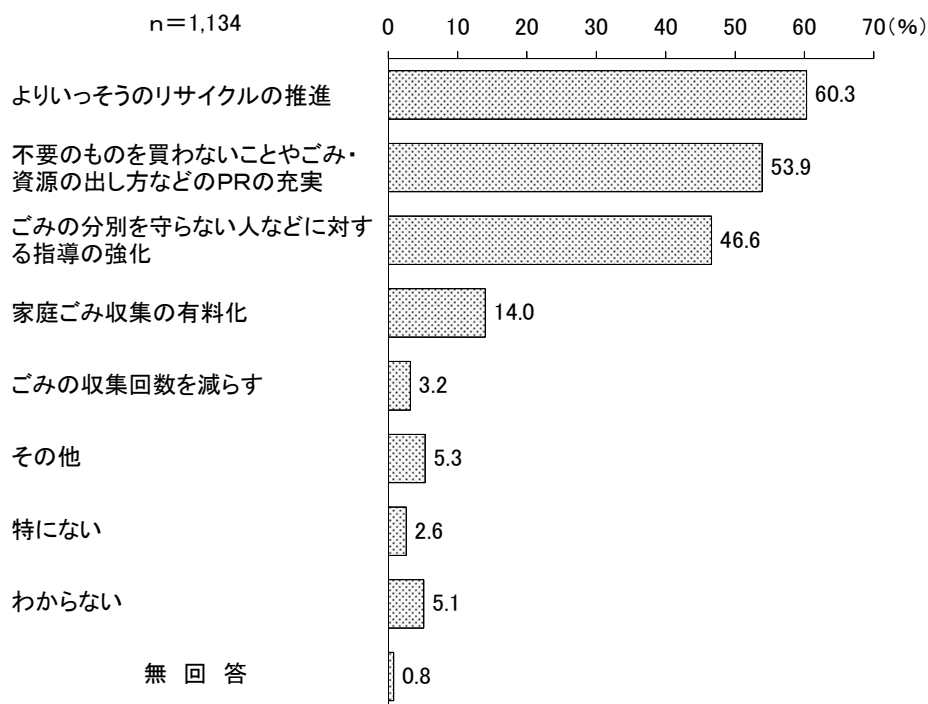
【世帯構成別】



(2) 今後のごみ・リサイクル事業で必要と思われること

問 20 (すべての方に) 23 区のごみの最終処分場である新海面埋立処分場は、おおむね 50 年で満杯となり、その後、新たな処分場を設置することは困難です。ごみの減量化には区民の皆さんの協力が不可欠ですが、今後の清掃・リサイクル事業で必要だと思うことは何ですか。
(○はいくつでも)

【今後のごみ・リサイクル事業で必要と思われること (全体)】



・全体でみると、「よりいっそうのリサイクルの推進」(60.3%)が6割と最も高く、次いで「不要のものを買わないことやごみ・資源の出し方などのPRの充実」(53.9%)、「ごみの分別を守らない人などに対する指導の強化」(46.6%)などの順となっている。

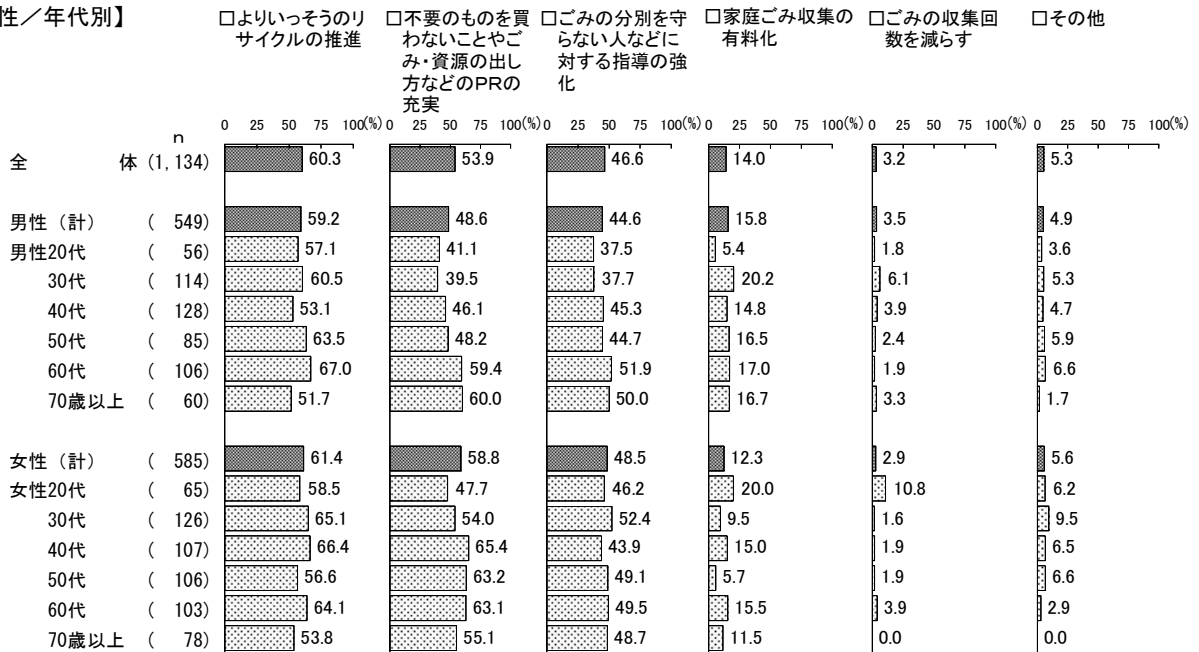
【今後のごみ・リサイクル事業で必要と思われること（性／年代別、世帯構成別）】

項目 属性 n		(%)													
		ク ル の 推 進	よ り い っ そ う の リ サイ	し 方 な ど の P R の 充 実	こ と や ご み ・ 資 源 の 充 実	不 要 の もの を 買 わ ない	強 化	人 な ど に 対 する 指 導 の い	ご み の 分別 を 守 ら ない	家 庭 ご み 収 集 の 有 料 化	す ご み の 収 集 回 数 を 減 ら	そ の 他	特 に ない	わ か ら ない	無 回 答
全 体 (1,134)		60.3	53.9	46.6	14.0	3.2	5.3	2.6	5.1	0.8					
〔性／年代別〕															
男性（計）（ 549）		59.2	48.6	44.6	15.8	3.5	4.9	2.7	6.6	0.5					
男性20代（ 56）		57.1	41.1	37.5	5.4	1.8	3.6	8.9	10.7	0.0					
30代（ 114）		60.5	39.5	37.7	20.2	6.1	5.3	2.6	9.6	0.9					
40代（ 128）		53.1	46.1	45.3	14.8	3.9	4.7	2.3	4.7	0.8					
50代（ 85）		63.5	48.2	44.7	16.5	2.4	5.9	1.2	4.7	0.0					
60代（ 106）		67.0	59.4	51.9	17.0	1.9	6.6	0.9	3.8	0.9					
70歳以上（ 60）		51.7	60.0	50.0	16.7	3.3	1.7	3.3	8.3	0.0					
女性（計）（ 585）		61.4	58.8	48.5	12.3	2.9	5.6	2.4	3.8	1.0					
女性20代（ 65）		58.5	47.7	46.2	20.0	10.8	6.2	4.6	3.1	0.0					
30代（ 126）		65.1	54.0	52.4	9.5	1.6	9.5	0.8	4.8	0.0					
40代（ 107）		66.4	65.4	43.9	15.0	1.9	6.5	0.0	1.9	0.9					
50代（ 106）		56.6	63.2	49.1	5.7	1.9	6.6	2.8	1.9	3.8					
60代（ 103）		64.1	63.1	49.5	15.5	3.9	2.9	3.9	2.9	1.0					
70歳以上（ 78）		53.8	55.1	48.7	11.5	0.0	0.0	3.8	9.0	0.0					
〔世帯構成別〕															
夫 婦 だ け（ 238）		55.0	53.8	51.3	16.0	3.8	5.9	3.4	4.6	0.8					
親と子（2世代）（ 594）		62.0	54.2	47.8	12.8	2.9	5.9	1.9	3.9	1.2					
祖父母と親と子（ 74）		63.5	58.1	45.9	6.8	4.1	5.4	4.1	5.4	0.0					
ひとり暮らし（ 191）		61.3	53.9	38.2	17.8	2.6	3.1	3.1	8.9	0.0					
そ の 他（ 26）		65.4	50.0	38.5	15.4	3.8	0.0	0.0	7.7	0.0					

- ・性別にみると、「不要のものを買わないことやごみ・資源の出し方などのPRの充実」は女性が男性より10.2ポイント高くなっている。
- ・性／年代別にみると、「よりいっそうのリサイクルの推進」はすべての年代で5割以上となっており、男性60代が7割近くと高くなっている。「不要のものを買わないことやごみ・資源の出し方などのPRの充実」は女性40代が6割半ば、女性50代と女性60代が6割を超え高くなっている。
- ・世帯構成別にみると、「不要のものを買わないことやごみ・資源の出し方などのPRの充実」は祖父母と親と子（3世代）が6割近くと高くなっている。「ごみの分別を守らない人などに対する指導の強化」は夫婦だけが5割を超えている。

【今後のごみ・リサイクル事業で必要と思われること（性／年代別、世帯構成別）－上位6項目】

【性／年代別】



【世帯構成別】

